

# JIS

## 色の測定方法－反射及び透過物体色

JIS Z 8722 : 2009

(CSAJ/JSA)

平成 21 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 基本技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	今井 秀孝	独立行政法人産業技術総合研究所
(委員)	大井 みさほ	東京学芸大学名誉教授
	尾島 善一	東京理科大学
	加藤 久明	日本デザイン学会
	吉良 雅治	社団法人日本産業機械工業会
	小松原 仁	財団法人日本色彩研究所
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	田森 行男	財団法人日本品質保証機構
	徳岡 直静	慶應義塾大学
	八田 勲	財団法人日本規格協会
	八木 隆義	社団法人日本鉄鋼連盟
(専門委員)	野原 慈久	財団法人日本規格協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 34.2.27 改正：平成 21.3.20

官 報 公 示：平成 21.3.23

原 案 作 成 者：日本色彩学会

(〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-17-42 TEL 03-3565-7716)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：基本技術専門委員会 (委員長 今井 秀孝)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 色の測定方法の分類	3
5 分光測色方法	3
5.1 一般	3
5.2 分光測光器	3
5.3 反射物体の測定方法	4
5.4 透過物体の測定方法	7
6 刺激値直読方法	8
6.1 一般	8
6.2 光電色彩計	9
6.3 測定方法	9
7 測定結果の表示	9
7.1 測定値の表示	9
7.2 測定値の付記事項	9
7.3 測定結果の記録及び様式	9
附属書 A (参考) 照射及び受光の幾何条件の分類及び許容差	58
解 説	60

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本色彩学会(CSAJ)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 8722:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

# 色の測定方法—反射及び透過物体色

## Methods of colour measurement—Reflecting and transmitting objects

### 1 適用範囲

この規格は、2度視野に基づくXYZ表色系<sup>1)</sup>（以下、XYZ表色系という。）及び10度視野に基づく $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系<sup>2)</sup>（以下、 $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系という。）によって物体色（以下、色という。）を測定する方法について規定する。

なお、蛍光性の反射物体の色を測定する場合には、JIS Z 8717による。また、XYZ表色系及び $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系は、観測者の目に対して張る角（視角）が、それぞれ1~4°の視野及び4°を超える視野における視感等色に対してよい相関を得ようとするときに適用する。

なお、この規格で定める物体色の測定方法は、CIEが2004年に推奨したPublication CIE No.15:2004 COLORIMETRY, THIRD EDITIONに定める物体色の測定方法に合致する。

注<sup>1)</sup> 国際照明委員会（Commission Internationale de l'éclairage, 略称CIE）が1931年に推奨した表色系

<sup>2)</sup> CIEが1964年に推奨した表色系。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS Z 8103 計測用語
- JIS Z 8105 色に関する用語
- JIS Z 8120 光学用語
- JIS Z 8701 色の表示方法—XYZ表色系及び $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系
- JIS Z 8717 蛍光物体色の測定方法
- JIS Z 8741 鏡面光沢度—測定方法

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS Z 8103、JIS Z 8105及びJIS Z 8120によるほか、次による。

#### 3.1

##### 重心波長

波長に対して帯域感度をもつ測光系において、その帯域を代表する波長。

なお、重心波長は、式(1)によって求める。